



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 リンテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小川 純一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	123,084	23.8	10,044	19.0	9,817	37.9	6,015	17.4
29年3月期第2四半期	99,435	△6.7	8,440	△12.4	7,118	△27.3	5,125	△20.5

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 4,697百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △2,678百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	83.37	83.24
29年3月期第2四半期	71.04	70.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	282,829	181,039	63.7
29年3月期	274,199	178,690	64.9

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 180,272百万円 29年3月期 177,884百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
30年3月期	—	33.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	18.9	20,000	20.5	19,200	22.4	12,500	9.2	173.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	76,564,240 株	29年3月期	76,564,240 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	4,412,639 株	29年3月期	4,412,515 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	72,151,654 株	29年3月期2Q	72,152,554 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成29年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費を背景に景気拡大基調が持続し、欧州においても緩やかながら景気回復が続きました。中国では各種政策効果もあり景気に持ち直しの動きが見られました。一方、我が国においては、好調な外需や円安により企業収益が改善したことに加え、個人消費も緩やかに持ち直すなど、総じて堅調に推移しました。

このような経営環境の中、当社グループでは新中期経営計画「LIP-2019」を今年4月からスタートさせ、「イノベーションをさらに深化させ、新たな成長にチャレンジ」という基本方針の下、重点テーマに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は123,084百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は10,044百万円（同19.0%増）、経常利益は9,817百万円（同37.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,015百万円（同17.4%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### 【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は60,102百万円（前年同期比46.0%増）、営業利益は1,206百万円（同17.8%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

##### (印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品については、国内では粘着紙は食品関連が低調であったものの、物流・通販関連が堅調に推移し、粘着フィルムは飲料用キャンペーンラベルや化粧品などのアイキャッチラベル需要によって順調に推移しました。海外ではアセアン地域において堅調であったほか、昨年末に買収した欧米子会社の売上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (産業工材事業部門)

国内では総じて低調に推移しましたが、二輪を含む自動車用粘着製品やウインドーフィルムがアジア地域において堅調であったほか、昨年末に買収した欧米子会社の売上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

#### 【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は43,982百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は6,054百万円（同32.1%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

##### (アドバンストマテリアルズ事業部門)

半導体関連粘着テープおよび関連装置は、スマートフォン用などの需要が好調であったことにより大幅に増加しました。また、積層セラミックコンデンサ関連テープについても、スマートフォン用や自動車用などの需要が好調であったことにより増加しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品は、中小型用は堅調であったものの、大型テレビ用が低調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ減少となりました。

#### 【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は18,999百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は2,732百万円（同17.1%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

##### (洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙は低調であったものの、工業用特殊紙や耐油紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

##### (加工材事業部門)

FPCカバーレイ用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルム、合成皮革用工程紙などが好調であったほか、炭素繊維複合材料用工程紙についてもレジュー用を中心に堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は282,829百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,630百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の増加	5,993百万円
・「受取手形及び売掛金」の増加	5,865百万円
・「たな卸資産」の増加	2,084百万円
・「有形固定資産」の減少	△1,313百万円
・「のれん」の減少	△2,906百万円

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は101,789百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,281百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の増加	7,912百万円
・「長期借入金」の減少	△1,507百万円

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は181,039百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,348百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	3,634百万円
・「為替換算調整勘定」の減少	△1,263百万円

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績については、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープがスマートフォン用などの需要増加を背景に好調に推移しているものの、液晶ディスプレイ関連粘着製品が引き続き低調に推移することが予想され、加えて、前期に買収した米国子会社や再建中のMadico, Inc.の業績が当初予想を下回る見込みであります。また、第1四半期連結累計期間にMadico, Inc.の事業構造改善引当金繰入額を特別損失として計上したことなどもあり、平成29年5月8日に公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成30年3月期通期連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	250,000	20,000	19,500	13,500
今回修正予想 (B)	245,000	20,000	19,200	12,500
増減額 (B - A)	△5,000	—	△300	△1,000
増減率 (%)	△2.0	—	△1.5	△7.4
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	205,975	16,595	15,684	11,450

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,060	51,053
受取手形及び売掛金	66,801	72,666
たな卸資産	34,584	36,668
その他	5,117	4,817
貸倒引当金	△114	△117
流動資産合計	151,449	165,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,397	31,769
機械装置及び運搬具（純額）	27,293	25,362
土地	11,057	11,053
建設仮勘定	2,163	2,457
その他（純額）	1,958	1,914
有形固定資産合計	73,871	72,557
無形固定資産		
のれん	34,558	31,652
その他	4,000	3,586
無形固定資産合計	38,559	35,238
投資その他の資産		
その他	10,423	10,042
貸倒引当金	△105	△97
投資その他の資産合計	10,318	9,945
固定資産合計	122,749	117,740
資産合計	274,199	282,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,057	52,970
短期借入金	641	430
1年内返済予定の長期借入金	3,051	3,057
未払法人税等	3,098	3,074
役員賞与引当金	90	46
事業構造改善引当金	—	796
その他	12,460	12,089
流動負債合計	64,401	72,466
固定負債		
長期借入金	17,795	16,287
環境対策引当金	135	133
退職給付に係る負債	12,362	12,420
その他	814	481
固定負債合計	31,107	29,323
負債合計	95,508	101,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,829	26,829
利益剰余金	131,247	134,882
自己株式	△7,714	△7,714
株主資本合計	173,563	177,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	732
為替換算調整勘定	6,938	5,674
退職給付に係る調整累計額	△3,392	△3,332
その他の包括利益累計額合計	4,320	3,074
新株予約権	186	219
非支配株主持分	619	547
純資産合計	178,690	181,039
負債純資産合計	274,199	282,829

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	99,435	123,084
売上原価	73,575	91,601
売上総利益	25,860	31,483
販売費及び一般管理費	17,419	21,438
営業利益	8,440	10,044
営業外収益		
受取利息	105	102
受取配当金	72	259
固定資産売却益	7	8
受取保険金	225	10
その他	203	170
営業外収益合計	614	551
営業外費用		
支払利息	9	114
固定資産除却損	401	188
為替差損	1,275	353
支払補償費	57	23
その他	192	97
営業外費用合計	1,936	778
経常利益	7,118	9,817
特別利益		
投資有価証券売却益	—	343
固定資産売却益	121	—
特別利益合計	121	343
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	—	941
特別損失合計	—	941
税金等調整前四半期純利益	7,240	9,219
法人税、住民税及び事業税	2,181	3,262
法人税等調整額	42	2
法人税等合計	2,224	3,264
四半期純利益	5,016	5,954
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△109	△61
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,125	6,015



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,016	5,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△42
為替換算調整勘定	△7,800	△1,272
退職給付に係る調整額	135	57
その他の包括利益合計	△7,694	△1,256
四半期包括利益	△2,678	4,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,503	4,769
非支配株主に係る四半期包括利益	△175	△71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,168	39,996	18,271	99,435	—	99,435
セグメント間の 内部売上高又は振替高	24	29	7,034	7,088	△7,088	—
計	41,192	40,025	25,305	106,524	△7,088	99,435
セグメント利益	1,467	4,581	2,334	8,383	56	8,440

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,102	43,982	18,999	123,084	—	123,084
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23	49	7,528	7,601	△7,601	—
計	60,126	44,031	26,528	130,686	△7,601	123,084
セグメント利益	1,206	6,054	2,732	9,993	51	10,044

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。